

令和5年度結核対策技術委員会取組状況

令和5年度の結核対策技術委員会及び専門部会は、以下のとおり開催された。

- ① 令和6年3月5日 第1回結核対策技術委員会（Web開催）
※専門部会の開催はなし

1 取組状況

(1) 東京都の令和5年度取組状況報告について

① 医療提供体制の確保

新型コロナウイルス感染症により稼働病床数が減少したが、治療可能な医療機関を確保するため、それぞれの状況に対応可能な医療機関に働きかけを行った。

② 東京都結核菌検査事業

過去5年間、肺結核培養陽性者中10%前後で推移していた菌株収集率を、肺活動性結核塗抹陽性者中50%とすることを目標値として菌検査事業を実施した。

③ 結核関連手続きのデジタル化

東京デジタルファースト条例に則り、個人情報やりとりを行う患者・接触者の検診や届出書類を中心に令和6年2月から順次デジタル化した。

④ 低蔓延化における人材育成と普及啓発

高齢者や外国人の全体に占める割合は増加傾向であり、外国出生者の出身国も多様化している。これまで行ってきた普及啓発の継続のみならず、高齢者施設や外国人労働者の管理団体等に対しても正しい知識の普及啓発を行った。

⑤ 外国出生患者への対策

新規感染者に占める割合が高い外国出生者に向けて、日本語教育機関学校健診、外国人結核患者治療・服薬支援員制度、重点対象者に対する結核対策強化健診、服薬ノート等の多言語化、多言語動画の作成等、様々な取組を行った。

⑥ プラン2018に定める目標値の達成状況

東京都結核予防推進プラン2018に定める各目標値については、令和2年度までに国の目標値を全て達成し、より高いレベルを設定した都の目標値についてもほぼ達成している。

(2) 東京都結核予防推進プランの改定について

次期プラン策定に向けて、技術委員会及び専門部会の開催スケジュール、令和6年度取組予定内容及び結核予防推進プラン改訂に向けた検討スケジュールについて協議を行った。